

異文化コミュニケーションCF

【講師】 **里野 龍平氏**
(大山桜の会代表)

被災地での大山桜 植樹の取り組みを通して



8年前から長野県戸隠において日本古来の桜「大山桜」の植樹に取り組んできた「大山桜の会」。昨年の3・11東日本大震災以後、被災地域の人たちを励まそうと、東松島市など被災地域での植樹活動に取り組まれている。

今回は被災地域でのそうした活動に取り組むきっかけや現地の様子などをお話しいただきます。

【日時】 **12月20日 18時～20時**

【会場】 **耳原総合病院
合同カンファレンスルーム**

異文化コミュニケーションCFは、医療界以外の分野から多彩な講師をお招きし、お話しいただく企画です。職員はもちろん地域の方、友の会会員の皆様のご参加も歓迎します。

主催；異文化コミュニケーションCF運営委員会
TEL 072-241-0501 病院代表

週刊長野

発行所／株式会社週刊長野新聞社 〒381-0036 長野市平林一丁目37番27号
 電話(026)244-5946 FAX(026)243-9285
 ©週刊長野新聞社 2012年 ホームページ: http://www.weekly-nagano.co.jp/ メール問い合わせは記事下参照
 広告取扱／神ながのアド・ビューロ(026)291-8604／神共立プランニング(026)238-8877
 神アサヒエージェンシー(026)233-2222／神三広(026)244-5515
 神週刊長野(026)244-5946 広告受付/koukoku@weekly-nagano.co.jp



虫や病気から守り育ててきた7年生の若木の根を土から掘り起こし、被災地へ運ぶ準備をする里野さんら

紙面紹介

- 3面 春の山菜そば会席を楽しむ会
- 12面 } こんにちはベビー&キッズ
- 13面 }
- 20面 校歌を訪ねて・山王小学校

戸隠・大山桜プロジェクト

東北の被災地への桜苗の無償提供と育苗管理に当たります。1口2000円以上の支援金を募集しています。
 庶務事務局・里野 254・3549

戸隠の桜苗木を被災地へ

話題を追って

犠牲者の鎮魂と大震災からの復興を祈る桜を植える。戸隠・大山桜プロジェクトを立ち上げた里野龍平さん(戸隠越水ヶ原)は昨年11月、生徒・職員7割が犠牲になった石巻市立大川小学校の近くに戸隠のオオヤマザクラの若木を植樹し、冥福を祈っていました。厳しかった冬を越し、そろそろ開花の知らせが届くのでは、と期待を寄せています。

現在は戸隠でオオヤマザクラを育てています。親木の種が、年間20本の植樹を予定し、

クラの「桜守」をしている里野さん。50年間山小屋を営み、桜を守ろうと思ったのは還暦を過ぎた10年前。戸隠神社の御子社にある、4代目と伝えられるオオヤマザクラの「西行桜」が雪の重みで倒れてしまいましたが、この木の遺子を残そうと、300個の実を拾って植えることに決めた。人に癒やす力があるのではと考え、生きがいの花を被災地に咲かせたい、と発願。多くの人たちの協力を得て、苗木の手入れなどを行って

4月初旬には、手塩にかけた苗木を雪の中から掘り出したトラックに載せ、「桜の丘」を造るため仲間たちと宮城東松島町へ向かい、現地で千本桜を目指したい。里野さんは被災



戸隠牧場のオオヤマザクラ (2011年5月15日撮影: 里野龍平さん)

5月5日号は
休刊です

(記事・松原京子)
 (写真・折井弘一)